

求む！ センパイ POWER



私の周りの同世代は大半が共働き。親を頼りたくても頼れない事情があるなど、困っている人が多いです。

主婦
いちのせ かなこ
市野瀬 加奈子さん



保育園や幼稚園、親族に次ぐ選択肢として、地域の高齢者を頼りにできるといいですね。

ファミリー・サポート・センターみやざき
ふじき じゅんこ
藤木 順子

市野瀬さん そうなんですね！
藤木さん 依頼の多くは、急に仕事が入ったけれど、近くに頼れる人がいないという切羽詰まったケースです。「週1回だけ保育園のお迎えをお願いしたい」「夕方1時間だけ子どもを面倒を見て欲しい」といった依頼です。対応可能な方も限られますので、援助会員を増やす必要があります。

市野瀬さん 私の周りの大半は共働き。親に頼りたくても、体調が悪かったり、親も仕事をしていたりして、そうした要望が多いのはうなずけます。援助会員が増えて、頼れる方が見つかりやすくなるとうれしいです。

「週1回、1時間でも 子育て世代は助かる」

市野瀬さん 上の子の参観日に下の子の面倒を見てくださるだけでも助かります。

藤木さん 困っている子育て世代がよりどころとして考えるのは、最初に保育園や幼稚園。次に両親などの親族です。できることならその次に、三番目の選択肢として地域の高齢者の皆さんが挙がるようになってほしいですね。

黒木さん 高齢者の皆さんは人生経験の豊富な「地域のセンパイ」。子育てのサポートだからといって特別に構えていただくなくても、これまでの経験や今やっていらっしゃるご自身のまま子育て世代の役に立つということ、ぜひ知ってほしいと思います。

小川さん 同世代の皆さん、地域で力を発揮していきましょー！

経験や資格は不要
できることは多くある

「共働きで仕事の帰りも遅い」「近くに頼れる祖父母がいない」…そんな子育て世代の皆さんの活躍が待ち望まれています。将来、**POWER**(力)を発揮してみませんか？

Part1

助けて欲しい子育て世代と センパイ 世代の現状

どうすれば高齢者の皆さんに、子育ての助っ人をお願いできるでしょうか。子育て世代と高齢者世代が意見を交わしました。



小川さん 現在の老人クラブは大半が75歳以上で、私と同じ60歳代はほんのわずかしきいません。みんなまだ若いという意識でいますし、現役で仕事をしている人も多いです。また、公民館や民間の講座、趣味のグループなどコミュニティもたくさんありますので、わざわざ老人クラブに入らなくてもいろんな活動ができるようになっていきます。このことが60歳代の加入者が少ない理由だと感じています。

黒木さん 元気で忙しくされている60歳代は多いですね。

小川さん そうですね。でもその一方で、地域の活動はさらに上の世代が中心になり、新しい発想は出にくく、子育て世代の暮らし方や価値観とはズレが生じていると感じています。地域の活力を維持するうえでも、その間を取り持つことができる60歳代の力が必要です。

市野瀬さん 私は転居したのを機に自治会に加入したのですが、総会に出席されている方が高齢者の方ばかりでびっくりしました。お元気な方は多いですが、中心になっ

「子育て世代の多くは 頼る先が少なくて大変」

子育て世代の多くが共働き、頼れる人が近くにいない人も増えています。子育てで大切なことは、頼れる人が近くにいない人も増えています。子育てで大切なことは、頼れる人が近くにいない人も増えています。

藤木さん ファミリー・サポート・センターみやざきでは、小川さんと同じ50、60歳代の方が中心になって、子育て世代のサポートをされていますよ。

小川さん どのくらいいるんですか？

藤木さん 援助会員として約500人が登録されています。それでもサポートを依頼される依頼会員の半数程度しか登録がなく、需要に追いついていないのが現状です。



地域のエネルギーを保つためにも、60歳代の若手が増え、活躍していく必要があると感じています。

宮崎市老人クラブ連合会 若手委員長
おがわ きたのり
小川 定範さん



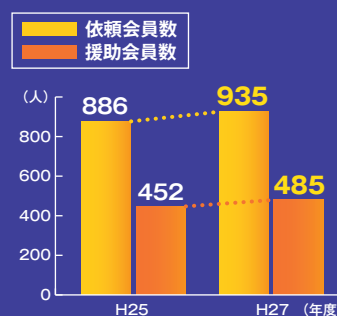
子育てだからといって構える必要はありません。今やっていることが必ず役に立つと思います。

長寿支援課 主任主事
くろぎ みのり
黒木 美紀

ファミリー・サポート・センター

課題 援助会員は依頼会員の半数止まり

近くに親族のいない世帯や共働きなどの世帯にとって、急な仕事や用事が発生した際に子どもの面倒を見てくれる人がいることほど心強いことはありません。しかしセンターでは、依頼会員が毎年増加している一方で、援助会員がその半数程度にとどまっております。一時預かりや子どもの送迎のサポートなどの依頼に応えきれない状況です。



ファミリー・サポート・センターとは

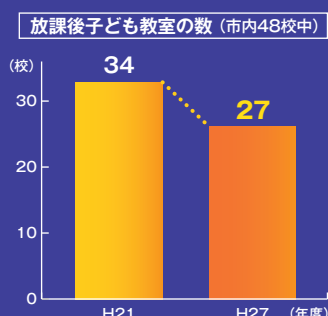
子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と、援助したい人(援助会員)をつなげることで、依頼会員が仕事と家庭を両立できるようサポートしています。

【問】子育て支援課
☎21-1765 FAX27-0752

放課後子ども教室

課題 活動の指導者となる地域の人材が不足

地域住民のもつ豊富な知識や経験を子どもに伝える居場所づくりに生かす放課後子ども教室では、子どもたちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを進めています。しかし、その指導者となる地域の人材が徐々に不足しており、教室を開設する地域は年々減少しています。



放課後子ども教室とは

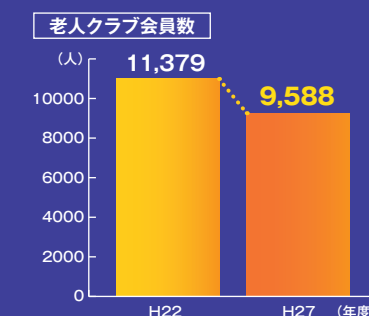
放課後に学校や公民館などを活用して、安全・安心な居場所を設け、地域の皆さんと学習やスポーツ、文化活動、交流活動などを行っています。全ての子どもが対象です。

【問】生涯学習課
☎85-1834 FAX85-0458

老人クラブ(さんさんクラブ)

課題 会員数は減少傾向で高齢化も進行

市の65歳以上の人口は、平成27年度に10万人を超え、全体の4分の1を占めるまでに増加しました。一方、おおよそ60歳以上を対象とする老人クラブの会員数は年々減少しています。さらに、60歳代の会員数も比較的小さく、会員の高齢化も進行しています。



さんさんクラブとは

老人クラブの愛称。高齢者が生きがいづくりや健康づくりを通して、地域に貢献するために活動している組織です。現在は約200の老人クラブが各地域で活動しています。

【問】長寿支援課
☎21-1773 FAX31-6337